

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
(案)



令和〇年〇月

はじめに

## 第1章 第2期佐渡市総合戦略の策定にあたって

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1. 国のまち・ひと・しごと創生総合戦略との関係         | 1 |
| 2. 基本的な考え方                       | 2 |
| 3. 佐渡市総合計画と佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の関係 | 3 |
| 4. 計画期間                          | 3 |
| 5. 策定プロセス及び進行管理                  | 4 |

## 第2章 佐渡市の現状と将来の方向性

- |                               |   |
|-------------------------------|---|
| 1. 第1期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標 | 5 |
| 2. 佐渡市の現状                     | 6 |
| 3. 人口の将来展望                    | 8 |
| 4. 今後の目指すべき将来の方向性             | 9 |

## 第3章 第2期計画における佐渡市の戦略

- |         |    |
|---------|----|
| 1. 基本方針 | 11 |
| 2. 施策体系 | 11 |
| 3. 基本目標 | 12 |
- 基本目標1 【しごと】 地域の特色、地域資源を活かした産業の振興
- 基本目標2 【新しいひとの流れ】 佐渡への新しいひとの流れをつくる
- 基本目標3 【結婚・出産・子育て】 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる
- 基本目標4 【まちづくり】 ひとが集い・賑わい・安心して暮らせる持続可能なまちづくり

# 第1章

## はじめに

### 第2期佐渡市総合戦略の策定にあたって

#### 1

#### 国のまち・ひと・しごと創生総合戦略との関係

国では、急速な人口減少・少子高齢化に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的として、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」を制定するとともに、2060年に1億人程度の人口を維持するなどの中長期的な展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、まち・ひと・しごと創生法に基づく5か年の目標や施策の基本方針等をまとめた第1期の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

国においては、第1期「総合戦略」の成果と課題を検証し、令和元年12月に第2期の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。第2期「総合戦略」においては、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と、「東京圏への一極集中」の是正を共に目指すため、第1期の成果と課題を踏まえて、第1期「総合戦略」の政策体系を見直し、4つの基本目標と2つの横断的な目標の下に取り組むこととしています。

#### 第2期における施策の方向性

基本目標1：稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする

- ・地域の特性に応じた、生産性が高く、稼ぐ地域の実現
- ・安心して働ける環境の実現

基本目標2：地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

- ・地方への移住・定着の推進
- ・地方とのつながりの構築

基本目標3：結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

基本目標4：ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

- ・活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保

横断的な目標1：多様な人材の活躍を推進する

- ・地域における Society5.0 の推進

「まち・ひと・しごと・創生法」第10条では、市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するよう努めなければならないこととされており、地方創生の充実・強化に向けて、切れ目ない取組を進めることが求められています。

本市においても、平成27年に「～歴史と文化が薫り 自然と人が共生できる美しい島づくり～佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少対策、地方創生の実現を目指してきました。この、第1期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証をもとに、これまでの総合戦略における4つの基本目標の枠組みを維持するとともに、より一層の充実・強化を図るため、令和4年度～令和令和8年度までを計画期間とする第2期計画を策定します。

## 2

## 基本的な考え方

第2期「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の政策5原則、4つの基本目標などを踏まえるとともに、以下の3つの考え方に基づき策定します。

### ①佐渡市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」に基づく戦略

人口ビジョンは、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を勘案し、ほん市における人口の分析を行い、人口問題に関する市民との認識の共有を目指すとともに、今後の目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示しています。この人口ビジョンの分析に基づいた政策を展開します。

### ②地域の特色や地域資源を活用した戦略

佐渡は二列の山地が南北に並び、中央に穀倉地帯の国中平野を挟み北と南では独特な地形が残されています。豊かで美しい自然環境に恵まれ、佐渡沖では暖流と寒流が交わる影響で、植物は寒暖両系の植生がみられ四季の変化に富んでいます。また、佐渡の文化は、流人たちがもたらした貴族文化、金山の発展による江戸からの武家文化、商人、船乗りが運んだ町人文化の三つの文化渾然一体となって独自の文化を育んでします。さらには、産業では米づくりを中心としており、柿などの果樹栽培なども盛んです。観光資源としては、トキ・金銀山・佐渡おけさ・鬼太鼓・能などがあり、国内外より多くの観光客が訪れています。

これらの地域の特色や地域資源を最大限に生かし、住民に身近な施策を幅広く盛り込んだ施策を展開します。

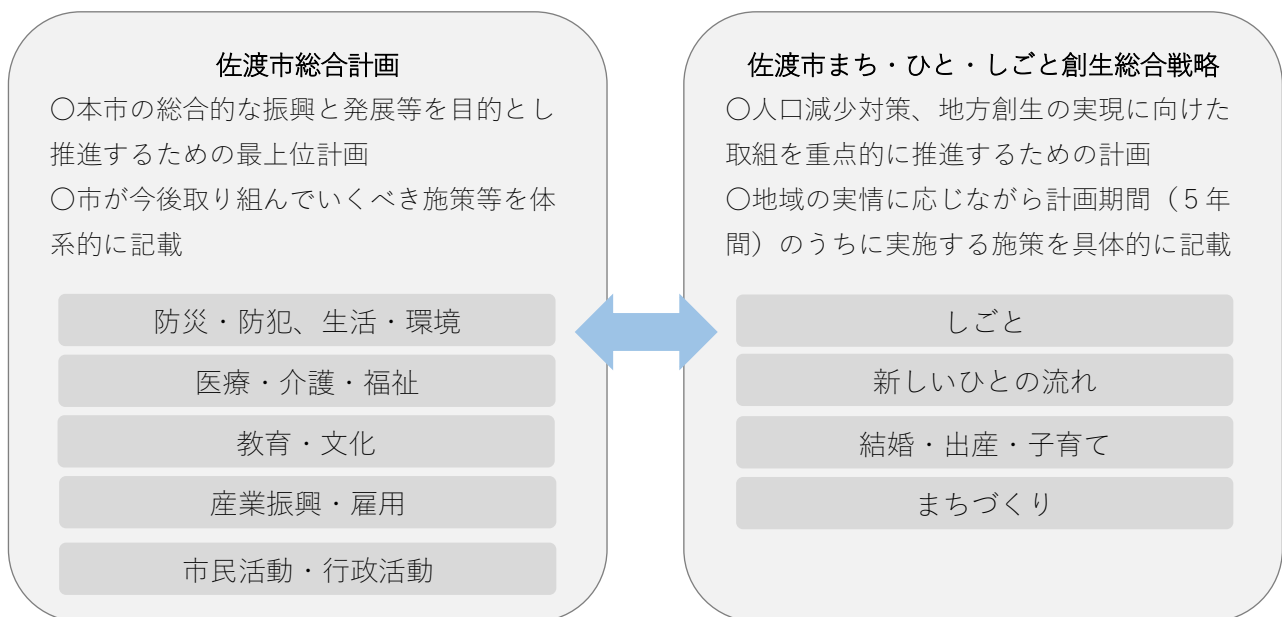
### ③連携による戦略

施策を効果的・効率的に推進していくためには、住民、関係団体、企業等と連携し協力していくことが重要です。幅広い層の住民をはじめ、多様な主体の参画を得るなど、地域の特性に応じた検討プロセスを経るとともに、経済圏における取組なども視野に入れ、行政区域を超えた広域的な連携となるよう施策を展開します。

## 3

### 佐渡市総合計画と佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の関係

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、人口減少克服・地方創生を目的として、本市の特色や地域資源を最大限に生かした地方創生の取組を積極的・戦略的に進めるため、最上位計画である「佐渡市総合計画」との整合性を図り、一体的な取組となるよう進めていきます。



## 4

### 計画期間

計画期間は、令和４年度から令和８年度の５年間とします。

### ①推進組織

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略を効果的・効率的に推進していくためには、幅広い層からなる住民をはじめ、産官学金労言（産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア）等の参画・協力が必要です。そのため、産官学金労等で構成する「さど未来創造・戦略推進会議」において、意見を求め計画に反映し策定します。

### ②数値目標・重要業績評価指標（KPI）の設定

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略には、盛り込む政策分野ごとに目標年次（5年後）の基本目標を設定するほか、各政策分野の下に盛り込む具体的な施策に対して、客観的な重要業績指標（KPI）を設定します。この目標及び指標は、原則、行政活動そのものの結果（アウトプット）ではなく、その結果として住民にもたらされる便益（アウトカム）に関する数値目標を設定しています。

### ③PDCAサイクルによる効果検証

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組を推進するに当たっては、KPIの進捗状況を確認するとともに、「さど未来創造・戦略推進会議」や議会等で検証を実施し、定期的、多角的な評価を行い、評価結果を踏まえて、KPIの修正等の必要な見直しを行っています。

## 第2章

### 佐渡市の現状と将来の方向性

1

#### 第1期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標

第1期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、国の示す取り組むべき政策分野と基本目標は下記のように設定し、各種施策を展開してきました。

##### ①国の政策分野：雇用創出

###### 基本目標1

島の資源を活かし、元気な産業と安定した雇用を創出する。

##### ②国の政策分野：新しい人の流れ

###### 基本目標2

世界的3資産を中心とした島の魅力とおもてなしの心で観光・交流を促進する。

##### ③国の政策分野：結婚・出産・子育て

###### 基本目標3

生活しやすい環境を整え、若者の出会いから就業までを島全体で応援する。

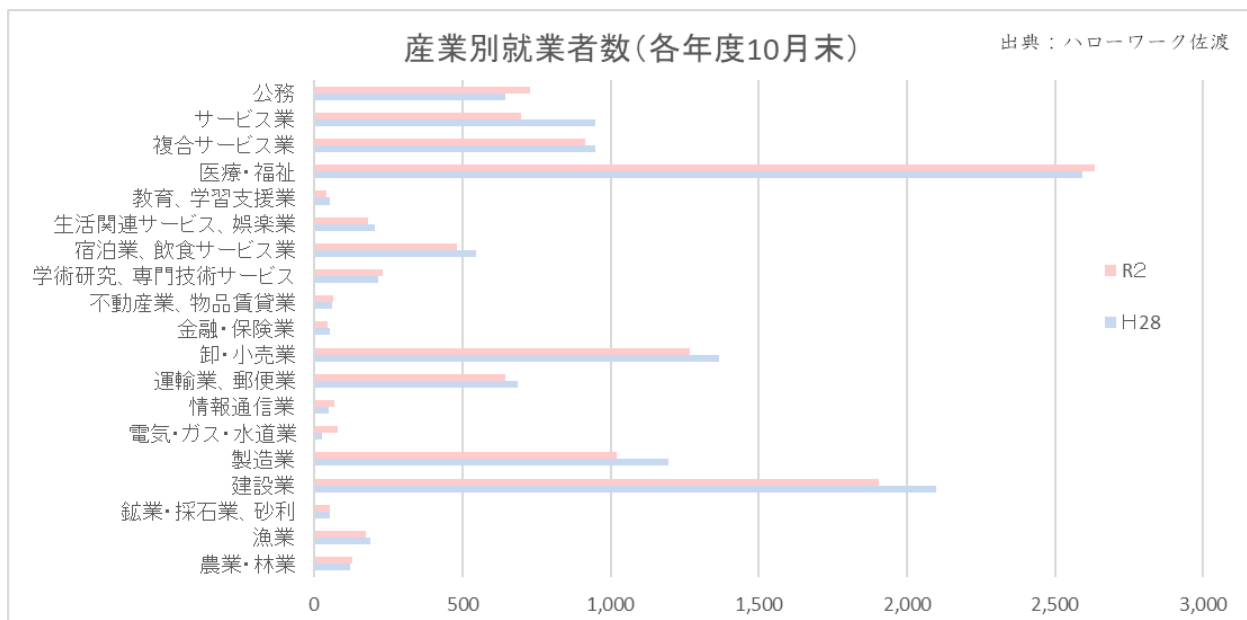
##### ④国の政策分野：地域づくり・くらしづくり

###### 基本目標4

特色ある持続可能な地域をつくり、島の安全・安心を確保する。

佐渡市の現状は以下のようになっています。

### ①雇用の状況（産業分野別就業者の推移）



### ②出生数・出生率の状況

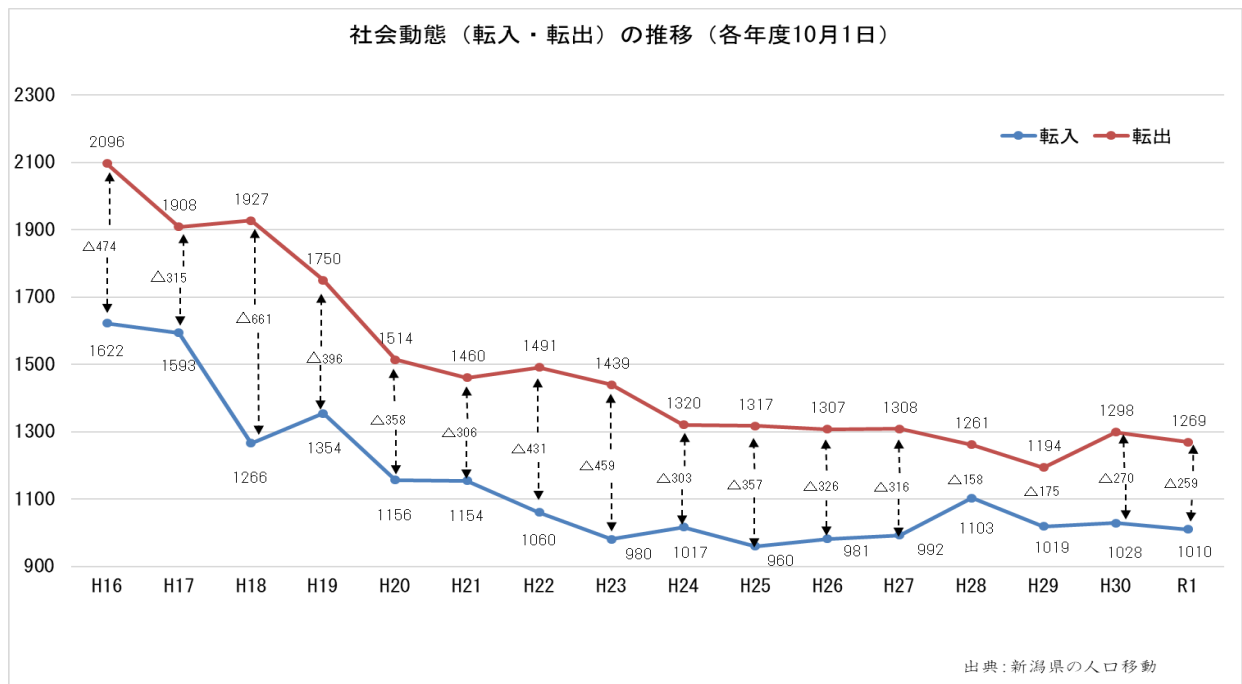
出生数は10年間で約4割減少しており、合計特殊出生率は、国・県と比較して高い数値で推移しているものの、平成29年以降は現状傾向となっています。





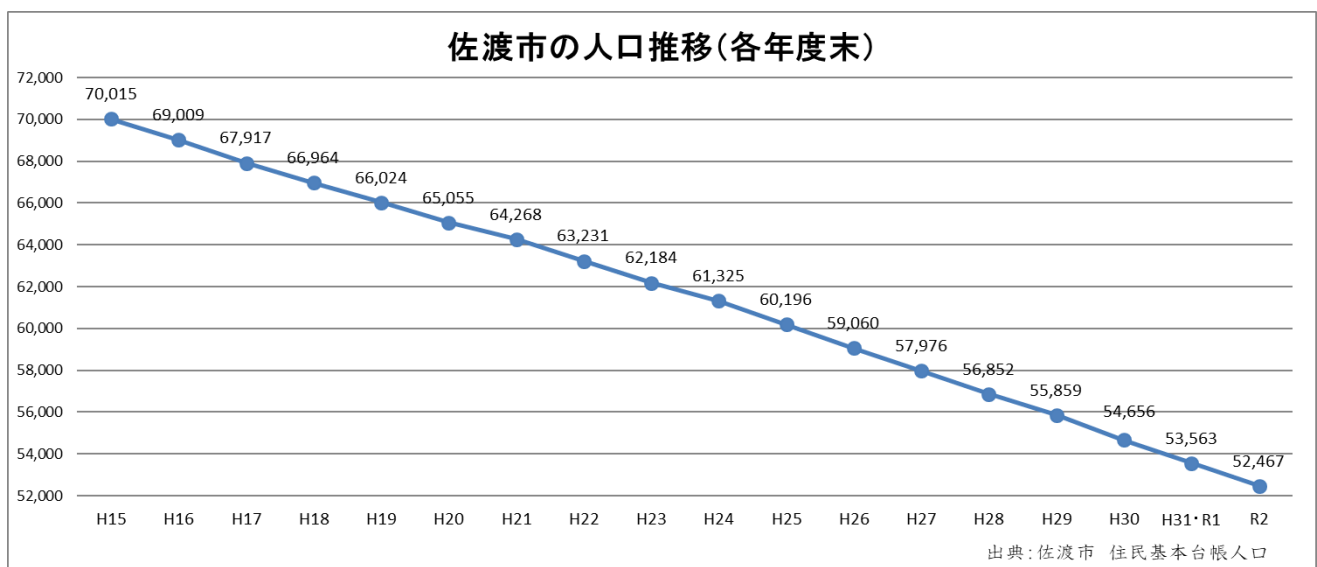
### ③人口移動の状況

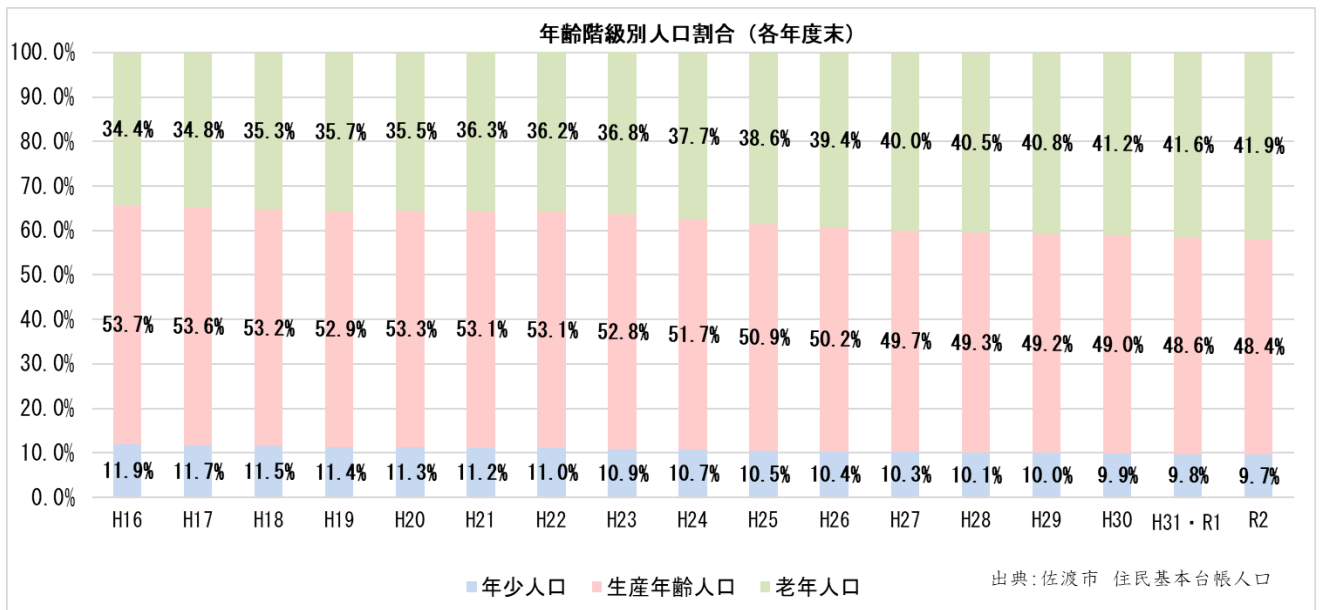
社会動態（転入・転出）においては、転出数は転入数を上回っており、人口減少に伴う転出者の減少によって、その差は減少傾向にあります。



### ③人口構造の状況

令和2年時点で総人口が52,467人であり、合併した平成16年と比較すると約16,000人減少しています。年齢階級別の割合で見ると、年少人口と生産年齢人口の割合は減少しており、平成27年には、生産年齢人口の割合が50%を下回り、一方で老年人口の割合は増加しています。





### 人口将来展望

平成 27 年国勢調査の結果を基準におこなった、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による将来推計では、令和 42 年の佐渡市の人口が 19,789 人となり、前回の社人研推計人口である 25,146 人よりも約 5 千人程度下回る予測となっています。

さらに、令和 2 年国勢調査における人口は、平成 27 年時点の社人研推計を下回る 51,513 人であり、人口減少がより加速化している状況です。

この推計を踏まえ、佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンでは、人口減少を短期的な取組で食い止めることは不可能であるが、人口減少を抑制するためには、若年層の流出抑制や U・I ターンの促進による移住拡大が大きなポイントとなります。

このことから、本市においては、自然減・社会減について以下のことを目指すことで、生産年齢人口の減少率を抑制し、老年人口を下回ることが防ぐとともに、令和 42 年に 32,000 人程度の人口になると展望しています。

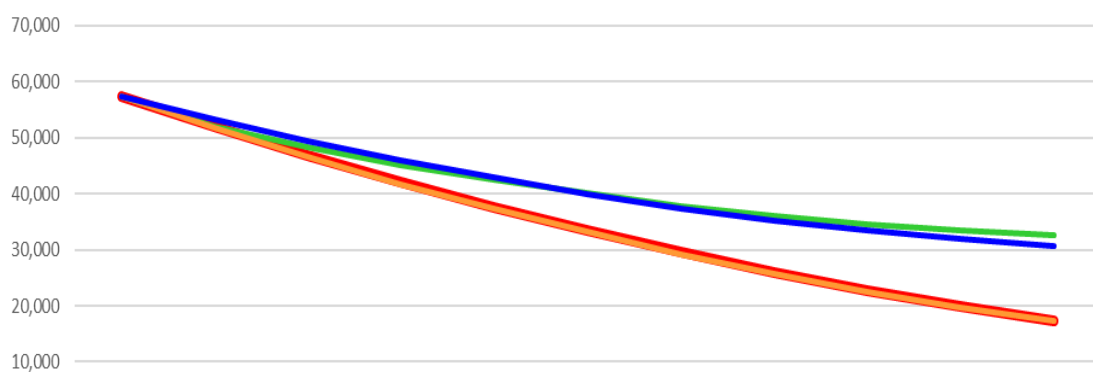
（自然増減）

- ・子どもを産み育てやすい環境の整備により、合計特殊出生率を 5 年毎に約 0.07 ずつ向上させ、2060 年までに 2.08 に上昇

（社会増減）

- ・U・I ターンの施策により 20 歳から 44 歳の世代が 2060 年まで一定数増加となる。

佐渡市将来人口推計



	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065
パターン1(社人研推計)	57,255	51,969	46,870	42,054	37,630	33,412	29,468	25,877	22,653	19,789	17,204
パターン2(独自推計)	57,255	51,879	48,271	45,123	42,476	40,094	37,853	35,975	34,510	33,416	32,484
シミュレーション1(出生率上昇)	57,255	51,744	46,532	41,671	37,262	33,139	29,249	25,711	22,550	19,748	17,209
シミュレーション2(移動均衡)	57,255	53,286	49,438	45,956	42,823	39,869	37,396	35,220	33,356	31,841	30,547

— パターン1(社人研推計)
 — パターン2(独自推計)
 — シミュレーション1(出生率上昇)
 — シミュレーション2(移動均衡)

## 4

### 今後の目指すべき将来の方向性

現状やこれまでの効果検証を踏まえ、第2期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、以下の施策に取り組み、人口減少対策及び地方創生の実現を目指します。

#### ①【しごと】地域の特色、地域資源を生かした産業の振興

令和2年度実施した「佐渡市高校生アンケート調査」では、希望している進学・就職等の地域については、半数以上が市外を希望しています。市外での進学・就職を希望する理由としては、「希望する進学先・就職先がない」が約6割となっています。一方で、進学や就職で一度は地元を離れるが「いずれは戻ってきたい」と約4割の方が回答しています。

このことから、“希望する仕事があり安心して働くことができる、起業もできる”環境を創出するとともに、人材の育成、雇用のマッチングなどを進める必要があります。

#### ②【新しいひとの流れ】関係人口を増やし、佐渡への新しいひとの流れをつくる

令和2年度実施した「佐渡市総合計画に関する市民アンケート調査」では、より多くの移住者を佐渡市に受け入れるために重要なこととして、「仕事情報の発信や仲介・斡旋」が約3割と最も多く、次いで「地域の受け入れ体制の構築」が約2割であることがわか

りました。

このことから、お試し住宅の柔軟な活用やいつでも佐渡に住むことができる体制の整備を進めるとともに、インキュベーションセンターの構築による企業誘致や雇用と住居を核に、医療・子育て・生活などの一体的な情報発信とサービスの確保が必要です。

また、佐渡の魅力を国内外に発信し、関係人口を増やすとともに、UI ターン者の取込み強化により佐渡への新しい人への流れをつくります。

### ③【結婚・出産・子育て】結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

令和2年度実施した「子育て世代アンケート調査」では、「理想とする子ども人数」は3人であるのに対し、実際に産む子どもの人数は2人が最も多く、1人の開きがあることがわかりました。その要因としては、「将来の教育費用等に対する経済的不安」が約4割と高くなっています。

また、子育て環境では家事と育児の役割分担について、「自分が主で、配偶者が一部を担う」、「自分が大半を担う」が半数以上となっており、理想としては「自分と配偶者が同程度担う」と約7割の方が回答しています。子育て支援では、「子どもの居場所づくり」やコミュニティづくりといった「周辺環境」が求められていることがわかりました。

このことから、将来に希望を持ち、理想とする子どもの数が持てるよう3子目以降の支援制度など通じて経済的負担を軽減していくとともに、保育所、家庭、企業等の子育て支援を再構築し、男女ともに家事、育児と仕事が両立できるよう仕事と生活の調和がとれた環境づくりを進める必要があります。

### ④【まちづくり】ひとが集い、賑わい、安心して暮らせる持続可能なまちづくり

令和2年度実施した「佐渡市総合計画に関する市民アンケート調査」では、まちづくりへの市民参加が実現していると感じていますかの問いに、「どちらかといえば実現していない」が約3割、「実現していない」が約2割であることがわかりました。

このことから、市民を巻き込んだ行政運営、地域での話し合い、地域の将来像を描けるよう、「地域に出て地域で話す」、「地域づくりを協議できる体制」をつくり、人口の変化とそれに伴う産業構造の変化に対応したまちづくりを市民、企業、関係団体等が連携して進めていくことが一層求められています。

### ⑤【横断的な目標】

本計画においては、総合計画の基本理念である「歴史と文化が薫り 人と自然が共生できる持続可能な島」実現するため、SDGs で示された17の目標達成を意識した施策展開を行うものとしており、SDGs との関係性を明確化していきます。

# 第3章

## 第2期計画における佐渡市の戦略

### 1

### 基本方針

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、総合計画の基本理念である「歴史と文化が薫り 人と自然が共生できる持続可能な島」と一体的に取り組み、子どもからお年寄りまで誰もがいきいきと輝ける島を目指し、人口減少対策と地方創生の実現に向けた施策を実施していきます。

### 施策体系

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、4つの基本目標と、基本目標を実現するための施策別の取組、各施策に係る具体的な取組により成り立っています。

基本目標	施策別の取組	取組
1. しごと	<ul style="list-style-type: none"><li>・農林水産業の振興</li><li>・雇用のマッチングと企業支援</li><li>・物産ブランド化と商工業の振興</li><li>・観光の振興</li><li>・誰もがやりがいを持って働ける環境づくり</li></ul>	各施策に係る具体的な取組
2. 新しいひとの流れ	<ul style="list-style-type: none"><li>・起業創業機会の拡充とUIターンの強化</li></ul>	
3. 結婚・出産・子育て	<ul style="list-style-type: none"><li>・結婚の希望をかなえる</li><li>・安心して子育てできる環境づくり</li><li>・安心して妊娠・出産できる支援の充実</li><li>・子育て環境の充実</li><li>・学校教育の充実</li></ul>	
4. まちづくり	<ul style="list-style-type: none"><li>・持続可能な地域づくり</li><li>・公共交通体系の充実</li><li>・高齢福祉の充実</li><li>・健康・医療の体制づくり</li><li>・歴史文化資源等保全・活用</li><li>・安心安全で快適な暮らしの確保</li></ul>	

## 基本目標 1：しごと

### 地域の特色、地域資源を活かした産業の振興

SDGs 該当分野



「しごとづくり」では、稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるよう支援を行います。あわせて、“希望する仕事があり安心して働くことができる、起業もできる”環境を創出するとともに、心材の育成、雇用のマッチングなどを進めます。

#### ① 農林水産業の振興

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
ふるさと納税やECサイト等での農産物の取扱額	5,800 万円	1 億 2,000 万円
新規養殖魚種の販売額	0 円	20,000 千円

- 新規就農者確保に向けた取組の充実
- みどりの食料システム戦略に基づく取組支援
- ECサイト等を活用した佐渡産品の販売支援
- 牛を中心とした家畜の導入や増頭および技術向上への支援
- 林業技術者育成費及び林業機械導入費支援事業
- 造林事業、水源林造成事業
- 佐渡産材流通促進事業、佐渡産木材利用促進事業、林道維持管理事業
- 育てる漁業の推進
- 佐渡産水産物のブランド力と販売力の強化
- 新規漁業就業者の確保・育成
- 島内循環に係る地産地消の取組み

#### ② 雇用のマッチングと企業支援

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
創業及び事業拡大に伴う雇用人数 (累計)	211 人	556 人
支援事業を活用し資格等を取得した人数 (年間)	240 人	300 人

- 雇用機会の確保
- 島内企業などの人材の確保・育成
- 若年者を主体とした労働力の確保

### ③物産ブランド化と商工会の振興

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
コシヒカリの海上輸送 (出荷) 量	13,602 t	13,602 t
インターンシップ受入れ企業数 (社/年)	2 社	35 社

- 佐渡産品の販路開拓と販売拡大の推進
- 企業ブランド力の向上

### ④観光の振興

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
外国人宿泊数	1,128 泊	14,000 泊
文化・スポーツツーリズム参加者数	44,943 人 (※R1実績)	101,500 人

- 体験型コンテンツの予約手配のデジタル化
- インバウンドへの情報発信強化
- 都市交流・連携によるアフターコロナインバウンド誘客力の強化
- 文化・スポーツツーリズムコンテンツの造成
- アドベンチャーツーリズムの推進
- Maas と連携したエリア周遊の推進
- 金銀山関連史跡を活用したナイトコンテンツの造成
- ハード面での受け入れ環境の整備
- 観光案内所を拠点とした受入れ態勢の強化
- 観光ガイドの養成
- だっちゃんコインアプリによる情報発信と観光CRMの体制づくり

### ⑤誰もがやりがいを持って働ける環境づくり

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
ワークライフバランスの推進に取り組んでいる事業所の割合	24%	30%
福祉施設から一般就労への移行者数	10 人	15 人

- 男女共同参画の推進
- 働き方改革の推進
- 高齢者の就業機会の確保
- 障がい者の就労支援

基本目標 1：しごと 地域の特色、地域資源を生かした産業の振興

【農林水産業の振興】

重点課題である担い手不足や生産性向上を推進するとともに、ブランド化、販路拡大などの取組みにより経営安定を目指します。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
新規就農者確保に向けた取組の充実	新規就農者の受入れと育成のため、農作業体験の場や研修可能な機関の支援体制を強化します。	新規就農者数（年間 20 人目標）	15 人	20 人
みどりの食料システム戦略に基づく取組支援	無農薬無化学肥料で栽培された農産物を拡大するため、生産部門と販売部門の両面を支援します。	無農薬無化学肥料栽培の取組面積	0.1%	10%
E C サイト等を活用した佐渡産品の販売支援	食品ロスや農家の所得向上のため、農家の EC サイト等への出品支援や規格外農産物の取扱いを充実させます。	ふるさと納税や E C サイト等での農産物の取扱額	5,800 万円	1 億 2,000 万円
牛を中心とした家畜の導入や増頭および技術向上への支援	畜産業を維持していくため、既存農家への優良和牛導入支援や CBS での研修による新規参入を促進します。	黒毛和牛飼育頭数	958 頭	1,000 頭
林業技術者育成費及び林業機械導入費支援事業	林業技術者研修費や林業機械導入費用の一部を補助することにより、施業技術向上を図り、木材生産の効率化を促進させるとともに、生産性を高めます。施業効率の向上のために、林地の集積に向けた取組みを進めます。	素材生産性	3 m <sup>3</sup> /人・日	5 m <sup>3</sup> /人・日
造林事業、水源林造成事業	山林において下刈りや間伐等の管理を継続的に実施することにより、多面的機能が持続的に発揮される森づくりに努めます。	年間整備面積	43.56ha	70.00ha
佐渡産材流通促進事業、佐渡産木材利用促進事業、林道維持管理事業	「生産地から市場等に佐渡産原木を運搬する費用」や「住宅等を建築・増改築する際の佐渡産材購入費用」の一部を助成することで、佐渡産木材の利用を促進します。木材の生産性向上に資する林道の整備及び管理に努めます。	佐渡産木材使用量	110 m <sup>3</sup>	170 m <sup>3</sup>
育てる漁業の推進	漁業者と連携して海洋深層水を活用したコンブやウニなどの促成養殖技術の確立に取組みます。	新規養殖魚種の販売額	0 円	20,000 千円
佐渡産水産物のブランド力と販売力の強化	離島漁業再生支援交付金を活用する対象漁業集落の合併推進と取組みの連携強化を図ります。	漁業集落による加工品販売額	4,051 千円	10,000 千円



主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
新規漁業就業者の確保・育成	佐渡市水産業雇用促進センターでの相談受付及び新規漁業就業者支援事業による支援を行い漁協や里親漁家と共に経営能力の高い漁業者に育成します。	支援した漁業就業希望者（累計）	5 名	14 名
島内循環に係る地産地消の取組み	島内の有機資源を活用し、生産された農産物を学校給食等に積極的に導入します。	学校給食での佐渡産野菜使用率（佐渡市地産地消計画）	17.2%	30%

基本目標 1：しごと 地域の特色、地域資源を生かした産業の振興

### 【雇用のマッチングと企業支援】

就職説明会やインターンシップなど、ハローワークや学校等と連携し、求職と求人の各面からの支援に取り組むことで、雇用のマッチングと人材確保を図ります。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
雇用機会の確保	ハローワークや商工会、UI ターンサポートセンター等の関係機関と連携し、国・県等の支援策の活用を図りながら、起業・創業、事業拡大、事業継承等に伴う支援を行います。	創業及び事業拡大に伴う雇用人数（累計）	211 人	556 人
島内企業などの人材の確保・育成	無資格者でも島内企業で働くことができるよう、資格取得や人材育成を支援し、島内企業の人材確保の機会の拡充を図ります。	支援事業を活用し資格等を取得した人数（年間）	240 人	300 人
若年者を主体とした労働力の確保	若者サポートステーション、ハローワーク、学校等の関係機関との連携を強化し、若者と地元企業のマッチング支援を図ります。また、若者無業者の就労に向けたジョブトレーニングやセミナーなど就労支援を行います。			

基本目標 1：しごと 地域の特色、地域資源を生かした産業の振興

【物産ブランド化と商工業の振興】

物産品の販路拡大を目指し、プロモーションやバイヤーとのマッチングなどを強化します。商工業の振興については、人手不足対策や労働生産性を高める取り組みを進め、売上拡大や域内消費拡大を目指します。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
佐渡産品の販路開拓と販売拡大の推進	物産品の販路拡大を目指し、首都圏や海外をターゲットとしたプロモーションや、バイヤーとのマッチングなどを強化します。	コシヒカリの海上輸送（出荷）量	13,602 t	13,602 t
企業ブランド力の向上	企業 PR や生産性向上のための取組に対する支援や、関係機関との講座やセミナーの開催により、島内企業の企業力アップ（強化）及び生産性向上を目指します。	インターンシップ受入れ企業数（社/年）	2 社	35 社

基本目標 1：しごと 地域の特色、地域資源を生かした産業の振興

【観光の振興】

個人・団体旅行など、多様なニーズに応じた旅行商品や滞在プログラムの充実を図ります。観光拠点の形成や回遊性の向上を図り、観光客・来訪者にとって居心地にいい環境づくりを進めます。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
体験型コンテンツの予約手配のデジタル化	多様な観光体験の情報発信や予約・決済を一元化することで、顧客側にはスマートな体験価値として提供すると共に、さど観光ナビを中心とした人流を強化することにより情報発信の精度を高めます。	さど観光ナビのセッション数	779,494 セッション	820,000 セッション
インバウンドへの情報発信強化	ニーズに沿った観光情報を提供するため、さまざま情報媒体を活用し、戦略的な情報発信を行います。	外国人宿泊数	1,128 泊	14,000 泊
都市交流・連携によるアフターコロナインバウンド誘客力の強化	対岸市、連携協定締結市等との交流促進、インバウンドを含めた受け入れ態勢の強化に取り組みます。	外国人宿泊数	1,128 泊	14,000 泊
文化・スポーツツーリズムコンテンツの造成	文化やアクティビティ等、佐渡が誇る観光素材が刺さる層に訴求する為、EC、銀河芸術祭、スポーツ大会を活かしたコンテンツを造成します。	文化・スポーツツーリズム参加者数	44,943 人 （※R1 実績）	101,500 人
アドベンチャーツーリズムの推進	佐渡が誇る文化・スポーツツーリズムの魅力磨き上げ・コンテンツ造成を行い、適切な市場に発信することにより、継続的なファン層の構築を図ります。	文化・スポーツツーリズム参加者数	44,943 人 （※R1 実績）	101,500 人
Maas と連携したエリア周遊の推進	複数のモビリティの検索・予約・決済を統合する Maas 及びだっちゃコインを軸として、エリア内周遊を推進するための仕組みづくり、情報発信を行います。	観光案内所利用者数	30,817 人	70,000 人
金銀山関連史跡を活用したナイトコンテンツの造成	滞在期間の延伸を目的として、夜の文化施設を活用したコンテンツを造成することにより、滞在型観光を促進します。	文化・スポーツツーリズム参加者数	44,943 人 （※R1 実績）	101,500 人

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
ハード面での受け入れ環境の整備	洋式化済みの主要な公衆トイレに温水シャワー設備を設置し、更なる観光客の満足度向上を目指します。	シャワートイレ整備数	6 施設	24 施設
観光案内所を拠点とした受入れ態勢の強化	3 か所の観光案内所を拠点としたエリア内周遊のためのコンテンツ造成、受け入れ態勢を強化します。	観光案内所利用者数	30,817 人	70,000 人
観光ガイドの養成	Maas と連携して観光案内所を拠点としたエリア内周遊観光を推進するため、金銀山ガイドやエコツアーガイドの養成、スキルアップを行います。	ふれあいガイドの利用客数	7,709 人	20,000 人
だっちゃんコインアプリによる情報発信と観光CRMの体制づくり	地域全体で稼ぐ仕組み、既存顧客へのロイヤリティ付与による良好な関係性構築のため観光CRMの体制を整備します。	さど観光ナビのセッション数	779,494 セッション	820,000 セッション

基本目標 1：しごと 地域の特色、地域資源を生かした産業の振興

【誰もがやりがいを持って働ける環境づくり】

若者から高齢者、障がい者などの誰もが経験や知識などを活かし、働くことのできるよう機会の充実を図ります。また、仕事と家庭の両立ができる環境づくりや多様な働き方を選択できるよう就業環境の整備に取り組みます。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
男女共同参画の推進	男女共同参画社会の実現に向け、関係機関と協力しながら、セミナーの開催等による啓発活動や、ワーク・ライフ・バランス推進のため各事業所への各種支援制度の周知を実施します。	仕事と家庭の両立支援体制制度を整備している事業所の割合	11.2%	29%
働き方改革の推進	それぞれの事業に応じた多様な働き方を選択できる就業環境整備に向け、各種制度の周知・啓発に努めます。	ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる事業所の割合	24%	30%
高齢者の就業機会の確保	高齢者の生きがい対策として、高齢者の就業機会を確保し、地域社会への参加を促進します。	シルバー人材センター会員登録者数	952 人	952 人
障がい者の就労支援	働く意欲のある障がい者がその適性に応じて能力を十分に発揮することができるよう、ハローワークや障がい者就業・生活支援センター、就労支援施設等関係機関と連携し、企業等への啓発や実習機会の確保、就労後の定着支援等、総合的な支援体制を推進します。	福祉施設から一般就労への移行者数	10 人	15 人

## 基本目標 1：新しいひとの流れ

関係人口を増やし、佐渡への新しいひとの流れをつくる

SDGs 該当分野



UI ターンを更に拡大するため、情報発信の強化とともに、ワンストップ窓口・支援窓口の整備に努めます。また、住まいの確保や移住後の経済的支援・仕事の暗線など、受入体制を強化します。

### ①起業創業機会の拡充と UI ターンの強化

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
インキュベーションセンター等への進出企業数	6 社	13 社
UI ターン者の定住率	0%	80%

- インキュベーションセンターやシェアオフィスの整備と利活用促進
- ビジネスコンテスト等企業誘致活動の展開
- ベンチャー企業のスタートアップ支援の強化
- 中高生をターゲットとした IT 人材および起業家の育成講座等の推進
- 移住者および移住希望者のフォロー体制の強化
- 空き家活用マネジメント力の強化と体制整備
- 佐渡部の強化による都市部との繋がり再構築と UI ターン者の受入れ促進
- 離島留学制度の推進

基本目標 2：新しいひとの流れ 関係人口を増やし、佐渡への新しいひとの流れをつくる

【起業創業機会の拡充と UI ターンの強化】

雇用を生み出す起業誘致の更なる強化を図ります。また、地域の魅力を発信し、関係人口を増やし、移住体験の交流の実施や移住相談会を開催し、佐渡への新しいひとの流れを創出します。

主な取組	取組内容	目標指標 (KPI)	現状値 (R2)	目標値 (R8)
インキュベーションセンターやシェアオフィスの整備と利活用促進	インキュベーションセンターおよびシェアオフィス進出の誘致活動を進めるため情報発信を強化します。	インキュベーションセンター等への進出企業数	6 社	13 社
ビジネスコンテスト等企業誘致活動の展開	ベンチャー企業のスタートアップ支援と企業誘致を併せて推進するため、ビジネスコンテストの開催およびトップセールスを中心とした誘致活動を強化します。	インキュベーションセンター等への進出企業数	6 社	13 社
ベンチャー企業のスタートアップ支援の強化	起業成功率No.1の島の実現と若者の移住者の受入れを促進するため、ベンチャー企業支援策の充実を図ります。	インキュベーションセンター等への進出企業数	6 社	13 社
中高生をターゲットとした IT 人材および起業家の育成講座等の推進	若者の定着化を図るため、民間スタートアップ団体および進出企業と連携したプログラミングスクールや起業家育成プログラムを実施します。	UI ターン者の定住率	0%	80%
移住者および移住希望者のフォロー体制の強化	移住者の受入れ促進と定着化を図るため、「移住」「暮らす」「働く」の窓口1本化と機能強化のための取組みを進めるとともに、佐渡暮らしサポーターズを展開し、移住支援体制の強化を図ります。	UI ターン者の定住率	0%	80%
空き家活用マネジメント力の強化と体制整備	空き家の利活用から関係人口と移住定住の拡大を図るため、空き家活用コーディネーターの育成および空き家相談窓口機能の1本化により推進体制を構築します。	空き家バンクの成約数	37 件	50 件
佐渡部の強化による都市部との繋がり再構築と UI ターン者の受入れ促進	若者 UI ターン者を獲得するため、関係人口から移住定住に繋げるための佐渡部を開催し、情報発信活動の強化とオンラインによるイベント等の企画・運営による充実を図ります。	若者 UI ターン者数	295 人	360 人

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値（R2）	目標値（R8）
離島留学制度の推進	離島留学制度を島外へ情報発信し、離島留学生在安心して生活できるよう地域の関係機関と連携し受入体制整備に取り組めます。			



## 基本目標 3：結婚・出産・子育て

### 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

SDGs 該当分野



結婚・出産から子育てまで、切れ目のない、きめ細やかな支援を行います。安心して子育てのできる環境を整え、特色ある教育により、将来の佐渡を担う子どもの育成に取り組みます。

#### ①結婚の希望をかなえる

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
婚姻率	2.7%	3.0%

●出会いから結婚までのサポート

#### ②安心して子育てできる環境づくり

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
出生数	249 人	200 人台を維持
ファミリーサポートセンター会員数	121 人	150 人

- 子どもが元気な佐渡が島（たからじま）事業
- 多子世帯出産成長祝金事業
- 公立保育園民営化の促進
- 有資格保育士の人員確保
- 保育園統合による施設整備
- 副食費無償化の拡充
- 公立保育園等 ICT 化
- ファミリーサポートセンターの充実
- 放課後児童クラブの整備・充実

#### ③安心して妊娠・出産できる支援の充実

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
出生数	249 人	200 人台を維持
合計特殊出生率	1.49%	2.08%

- 島外特定不妊治療支援
- 妊産婦医療費助成の充実

#### ④子育て環境の充実

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
就労につなげた人数	8 人	20 人

- 妊娠から出産・子育て・就労までの総合相談サポート
- 外国にルーツのある家庭への就労支援
- 親子参加型事業による家庭教育支援
- 体験活動による青少年教育の実施

#### ⑤学校教育の充実

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
I C T を活用した授業研究の実施校	74%	100%

- 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進
- 「豊かな心を育む教育」の推進
- 「次世代の高校教育」に向けた連携等の取組
- I C T を活用した教育の推進
- 学校図書の充実
- 経済的困窮者への就学援助

基本目標 3：結婚・出産・子育て      結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

【結婚の希望をかなえる】

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
出会いから結婚までのサポート	県や民間事業者等と連携し、個人のニーズにあった効果的な結婚イベントやマッチング事業を通して、出会いの場を提供します。	婚姻率	2.7%	3.0%

基本目標 3：結婚・出産・子育て 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

【安心して子育てできる環境づくり】

すべての家庭が安心して子育てできるよう、多様なニーズに応じた子育てや必要なサービスが利用できるよう充実した子育て環境を提供します。また、子育て世代の経済的な負担軽減を図ります。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
子どもが元気な佐渡が島（たからじま）事業	島全体で子どもの誕生を祝う機運を醸成するとともに、子育て世帯の経済的負担軽減を目的に出生祝金を支給します。	出生数	249 人	200 人台を維持
多子世帯出産成長祝金事業	多子世帯の子育てにかかる費用の経済的負担軽減、第3子以降の妊娠・出産の後押しを目的に成長祝金を支給します。	第3子以降の出生数	58 人	50 人台を維持
公立保育園民営化の促進	民間が持つ柔軟性を活かした多様な保育事業を展開します。			
有資格保育士の人員確保	人材育成・確保事業等による専門職の確保を推進します。			
保育園統合による施設整備	財政健全化も含め将来を見据えた適正配置を進めます。			
副食費無償化の拡充	無農薬米や有機野菜による安全で質の高い給食の提供及び地産地消を図り、幼児期からの食育を推進します。	地産地消率	40%	45%
公立保育園等 ICT 化	システム導入による保護者の利便性向上と保育士の業務改善を図ります。	ICT システム導入	0 園	7 園
ファミリーサポートセンターの充実	会員のニーズを把握しながら、サービス内容の改善、増加など事業拡大に取り組みます。	ファミリーサポートセンター会員数	121 人	150 人
放課後児童クラブの整備・充実	各地域のニーズを把握しながら、利用申込者の増減に伴う施設整備を進めるとともに、民間運営の促進を図ります。	放課後児童クラブ延べ利用児童数	57,000 人	60,000 人

基本目標 3：結婚・出産・子育て      結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

**【安心して妊娠・出産できる支援の充実】**

妊娠から出産までを安心し、希望する子どもの数が持てるよう、妊娠や出産に関する費用の一部を助成し、経済的な負担の軽減を図ります。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
島外特定不妊治療支援	不妊治療費に加え不育治療費の助成拡充をします。			
妊産婦医療費助成の充実	市民税非課税世帯の条件を廃止し、対象範囲を拡充します。			

基本目標 3：結婚・出産・子育て      結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

【子育て環境の充実】

妊娠、出産から子育てまで切れ目のない、きめ細やかな支援を行います。地域全体で子どもを育むための支援体制に取り組みます。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
妊娠から出産・子育て・就労までの総合相談サポート	妊娠期から 39 歳までの市民に関わる相談を受け付け、関係機関と連携し、切れ目のない支援体制を整えます。			
外国にルーツのある家庭への就労支援	外国にルーツのある母たちの就労のための講座（日本語講座、履歴書の書き方、マナー講座等）等を開催し、就労につなげることで、家庭の安定した収入確保を図ります。	就労につなげた人数	8 人	20 人
親子参加型事業による家庭教育支援	親子のふれあいや親子がともに成長する機会を創出するために親子参加型の講座や教室を開催し、家庭教育支援を行います。			
体験活動による青少年教育の実施	子どもの協調性・人間性を養うために青少年の体験活動を開催し、青少年教育を行います。			

基本目標３：結婚・出産・子育て      結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

【学校教育の充実】

児童・生徒の豊かな心と健やかな体を育む教育を基本に、ICT 教育などの時代にニーズに併せた教育に取り組めます。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進	キャリア形成と自己実現を支援するため、幼児期から高校まで、郷土愛を軸にしたキャリア教育の学びを蓄積します。	キャリア・パスポートの活用	100%	100%
「豊かな心を育む教育」の推進	保護者とともに、いじめの未然防止や自己肯定感の醸成を図るため、「道徳教育研修講座」「人権教育・同和教育研修講座」を開催して道徳の授業公開につなげます。	道徳の授業を公開する学校	100%	100%
「次世代の高校教育」に向けた連携等の取組	佐渡の未来を担う人材を育成するため、学習意欲向上プロジェクト等により大学や研究機関等との連携を促します。	高等教育・研究機関等を活用した教育活動の実施	65.7%	80%
ICTを活用した教育の推進	学習活動の一層の充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現を進めるため、総合教育センターでICTを活用した授業づくりに係る研修会を実施し、各学校での研修を促します。	ICTを活用した授業研究の実施校	74%	100%
学校図書の充実	児童生徒の読書環境の充実を図るため、年度末に各学校の蔵書冊数調査を行い、必要な学校に補充を進めます。	図書の蔵書基準冊数の達成率	91%	100%
経済的困窮者への就学援助	就学援助事業の周知徹底を図るため、児童生徒一人一人につき、各家庭から就学支援の意思を確認する申請書を配布し、各学校で回収を行います。	就学支援申請の意思確認回収率	85%	95%

## 基本目標4：まちづくり

ひとが集い、賑わい、安心して暮らせる持続可能なまちづくり

SDGs 該当分野



安心して暮らせる地域コミュニティの維持・活性化に取り組みます。様々な分野の人が参画するための体制整備や機会の充実によって、市民が主役となるまちづくりを進めます。

### ①持続可能な地域づくり

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
地域づくり活動に係わった人数	4,442 人	4,600 人
地域おこし協力隊定着率	80.8%	82.5%

- 地域づくり活動への支援
- 地域おこし協力隊等外部人材の活用
- 再生可能エネルギー及び脱炭素の推進
- 広報戦略

### ②公共交通体系の充実

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
航路利用者	70 万人	130 万人
路線バス利用者	35 万人	38 万人

- 佐渡航路の安定輸送の維持・確保
- 佐渡空港の整備及び航空路の再開
- 効率的なバス交通ネットワーク構築

### ③高齢者福祉の充実

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
平均自立期間（要介護2以上）	80.4 歳	81.0 歳
高齢者実態調査による生きがいがあると回答した高齢者の割合	59.5%	65%

- 健康づくりと介護予防の推進
- 高齢者の生きがいある暮らしの推進
- 医療・介護・福祉が一体的に提供される地域包括ケアシステムの推進



#### ④健康・医療の体制づくり

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
さどひまわりネット加入率	31.5%	35%

- 健康さど21計画の推進
- 健康づくりのためのスポーツ・レクリエーションの普及促進
- 高齢者の健康づくりや生きがいの推進
- 医療・福祉との連携による安全・安心に暮らせる地域づくりの推進
- 安全・安心な医療が受けられる体制

#### ⑤歴史文化資源等の保全・活用

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
世界遺産構成資産の整備件数	1 件	8 件
ジオパークガイド数	20 人	30 人

- 世界遺産などの地域資源の保存と活用
- 郷土愛の醸成と担い手の育成
- 地域資源を活用した交流拠点づくり
- ジオサイトの地質資源の保護・保全及び活用推進
- 博物館の魅力向上と地域文化体験機会の創出

#### ⑤安心安全で快適な暮らしの確保

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R6)
地域防災リーダー認定、登録者数	241 人	300 人

- 地域防災力向上に資するリーダーの育成
- 市民や関係機関が一体となった総合防災訓練の実施
- 地区の人命、財産を守るための共助による地区防災計画の策定
- 公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進
- 社会インフラ老朽化対策の推進
- 港湾等防災拠点の整備
- 応急手当の普及促進
- 幹線道路等の社会資本整備
- 持続可能な水道施設の整備
- 自然環境の保全に向けた下水道接続等の促進

基本目標 3：まちづくり ひとが集い、賑わい、安心して暮らせる持続可能なまちづくり

【持続可能な地域づくり】

安心して暮らせる地域コミュニティの維持・活性化に取り組みます。また、地球温暖化防止活動の取組みなど、自然環境の保全と活用を図ることを基本に、再生可能エネルギーの導入・活用を推進します。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
地域づくり活動への支援	地域活動団体等による地域づくり活動への支援により、個性豊かで活力ある地域づくりを推進します。	地域づくり活動に係わった人数	4,442 人	4,600 人
地域おこし協力隊等外部人材の活用	地域おこし協力隊の配置や地域と大学生等との交流への支援により、地域課題の解決や地域の賑わいの再生を図ります。	地域おこし協力隊定着率	80.8%	82.5%
再生可能エネルギー及び脱炭素の推進	エネルギーの地産地消等、資源の地域循環や防災機能強化につながる持続可能な地域づくりのため、再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの普及促進、各種補助事業の実施、セミナー等を通じた普及啓発活動、関係団体との連携等を行います。	再生可能エネルギー推進補助金活用件数	10 件	20 件
広報戦略	地域ブランディングを通して地域のイメージを向上させるとともに、移住者・定住者を増やす、地域への人の往来を増やすことを実践することで「魅力ある地域として人々に選ばれるまち」を目指します。			

基本目標 3：まちづくり ひとが集い、賑わい、安心して暮らせる持続可能なまちづくり

【公共交通体系の充実】

国・県・交通事業者と連携し、基幹航路の維持に取り組みます。また、島内交通である路線バスの維持・活性化とともに、新たなモビリティサービスの導入を進めます。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
佐渡航路の安定輸送の維持・確保	離島住民の生活航路確保及び交流人口拡大のため、利便性向上と誘客促進を図り安定的な運航体制を維持していきます。	航路利用者	70 万人	130 万人
佐渡空港の整備及び航空路の再開	地域経済の拡大と交流人口の増加を図るため、新佐渡空港滑走路 2,000m 化及び休止中の航空路再開を推進します。	航空路利用者	0 人	10 万人
効率的なバス交通ネットワーク構築	地域公共交通の利用促進を図るため、バス交通網を軸に ICT の活用した新モビリティサービスを推進します。	路線バス利用者	35 万人	38 万人

基本目標３：まちづくり ひとが集い、賑わい、安心して暮らせる持続可能なまちづくり

### 【高齢者の福祉サービス】

高齢者の健康づくりや活躍できる場づくりなどの社会参画を推進しながら、支えあいの地域づくりを進めます。また、認知症対策など安心して暮らせるよう質の高い介護サービスの提供に取り組めます。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
健康づくりと介護予防の推進	健康寿命日本一を目指し、健康づくり、健康診査・保健指導、歯科保健対策、食育と栄養対策を一体的に支援します。	平均自立期間（要介護２以上）	80.4 歳	81.0 歳
高齢者の生きがいある暮らしの推進	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って安心して生活できるよう、社会参加しやすい地域づくりを推進します。	高齢者実態調査による生きがいがあると回答した高齢者の割合	59.5%	65%
医療・介護・福祉が一体的に提供される地域包括ケアシステムの推進	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、医療・介護・福祉が一体となったサービス提供体制の整備を図ります。	認知症サポーター養成講座受講者数	8,477 人	10,000 人

基本目標３：まちづくり ひとが集い、賑わい、安心して暮らせる持続可能なまちづくり

【健康・医療の体制づくり】

健康診断や生活習慣の改善など、健康寿命日本一を目指した健康づくりを支援します。安全・安心な医療が受けられるよう、切れ目のない地域医療体制の構築を図ります。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
健康さど21計画の推進	各世代共通の健康課題である“肥満”や“欠食”の改善のために生活習慣や運動習慣の改善に向けた普及活動を推進します。			
健康づくりのためのスポーツ・レクリエーションの普及促進	<p>スポーツ・レクリエーションを通じて健康づくりを促進するため、各世代に必要な運動を提供する専門人材の育成をするとともに、楽しみながら運動効果を高める佐渡独自の運動メニューを確立します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公認資格指導者の育成（ジュニア・各競技・プログラマー等）</li> <li>・体力測定と効果的な運動メニューづくり（体力測定、運動教室の実施、楽しく課題を克服する運動メニューづくり）</li> <li>・スポーツ実施率の把握とニーズ調査（実態把握と調査結果分析）</li> </ul>			
高齢者の健康づくりや生きがいづくりの推進	高齢者の生きがいづくりや健康づくりの機会充実のために、高齢者向け教室や講座を開催します。			
医療・福祉との連携による安全・安心に暮らせる地域づくりの推進	医療機関、調剤薬局、介護福祉施設間で患者情報を共有し、安全な医療・介護を提供するために、「さどひまわりネット」への加入促進を図ります。	さどひまわりネット加入率	31.5%	35%

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R 8）
安全・安心な医療が受けられる体制	新潟県地域医療構想の推進により、病院及び有床診療所の 病床機能の役割分担と相互連携を強化します。 ・医療従事者確保のための、看護師への補助、学生への奨 学金貸付、研修医海外留学支援等を行います。	医療技術者奨学資金貸与看護師の 市内就職率	55.6%	80%

基本目標３：まちづくり ひとが集い、賑わい、安心して暮らせる持続可能なまちづくり

【歴史文化資源の保全・活用】

世界遺産をはじめとする本市の歴史文化遺産の保全・活用に取り組みます。また、ジオパーク推進・博物館を中心とした歴史文化を活かしたまちづくりを展開します。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
世界遺産などの地域資源の保存と活用	世界遺産の構成資産や関連する文化財の保存と活用に向けた取組みを支援します。	世界遺産構成資産の整備件数	1 件	8 件
郷土愛の醸成と担い手の育成	佐渡の文化や自然を学ぶ機会の提供や普及啓発活動を推進します。	各種普及啓発事業の参加者数	4,190 人	5,300 人
地域資源を活用した交流拠点づくり	佐渡金鉱山ガイダンス施設の機能強化や世界遺産を核とした地域の賑わいを創出します。			
ジオサイトの地質資源の保護・保全及び活用推進	歴史文化資源等の保全・活用を図るため、ジオサイトの地質資源の保護・保全及び活用を推進します。 ・ジオツーリズムの推進と観光プログラムの開発 ・他地域ジオパークとの子ども・ガイド同士の交流 ・地域ならではの特産物のジオパークの視点での紹介と活用 ・地域資源の保護と自然や生物多様性の保全 ・ジオパーク活動の周知・啓発	ジオパークガイド数	20 人	30 人
博物館の魅力向上と地域文化体験機会の創出	・博物館資料の分かりやすい解説と資料整理や調査によるコレクションの磨き上げによる魅力ある展示と発信力の強化を図ります。 ・市民と観光客が一体となる文化体験メニューを提供し、貴重な文化資源の担い手育成を図ります。			

基本目標 3：まちづくり ひとが集い、賑わい、安心して暮らせる持続可能なまちづくり

【安心安全で快適な暮らしの確保】

災害に強い地域をつくるため、地域のよる防災活動に対する支援を行うなど、安心安全な暮らしの確保に向けた取り組みを推進します。また、市民の暮らしを支える道路など社会基盤の整備・維持など住環境の向上を図ります。

主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R8）
地域防災力向上に資するリーダーの育成	自主防災組織の活動において中核的存在となる人材として地域防災リーダーの育成を図ります。	地域防災リーダー認定、登録者数	241 人	300 人
市民や関係機関が一体となった総合防災訓練の実施	災害発生時における対応能力の向上と市と関係機関相互の協力体制の確立を図るとともに市民が参加し災害に対する知識の向上を図ります。			
地区防災計画の策定	共助による地域防災力強化、地域コミュニティの維持・活性化を図ります。			
公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進	市財政負担の軽減化、平準化を図るため、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の総量縮減が必要となる。同計画の推進に向けては、地元や利用者と問題意識を共有し、合意と理解が必要となることから、各種集会等において同計画の周知と意見交換を行うことにより、市民等の理解度向上に努めます。	公共施設延床面積を 2045（令和 27）年までに 2015（平成 27）年比 30%削減	3.5%	8.9%
社会インフラ老朽化対策の推進	橋梁等の定期点検により健全性を把握し、老朽化により安全性が懸念される施設について、補修等を実施し施設の長寿命化と通行の安全性の確保を図ります。	橋梁の健全度率	73.3%	75%
港湾等防災拠点の整備	港湾施設の将来の機能確保をするため、岸壁の老朽化対策や埠頭用地整備による防災拠点の整備を図ります。			



主な取組	取組内容	目標指標（KPI）	現状値	目標値（R 8）
応急手当の普及促進	突然のケガや病気に対応するための応急手当を市民に普及することを目的に、小中学生を含めた市民を対象とした普通救命講習を実施します。また、受講し易くするために救命入門コースや分割型の講習を行うことで普及を促進します。	人口の 20%	17.2%	20%
幹線道路等の社会資本整備	集落間を結ぶ法線の悪い区間や狭くて見通しの悪い箇所等の改良整備をし、事故等の危険性解消や利便性の向上を図り、地域住民が安全安心に利用できる道路整備を行います。	市道の改良率	49.6%	55%
持続可能な水道施設の整備	安定的な水道水の供給に向け、災害や老朽化に備えて主要施設と重要な送水管、配水管の計画的な更新と耐震化を推進します。	基幹管路の耐震化率	21.5%	27%
自然環境の保全に向けた下水道接続等の促進	河川等の水質改善による美しい自然環境の保全のため、下水道未接続者や単独浄化槽利用者などへの啓発普及活動、公共下水道整備事業を実施します。	污水衛生処理率	56.7%	63.8%